

総務厚生常任委員長報告

審査日 令和7年8月1日

出席委員 金子 恵 堤 理志 堀 真 下町 純子
藤田 明美 西田 健 浦川圭一 西岡 克之

説明員 関係所管管理職並びに職員

議案第47号 令和7年度長与町一般会計補正予算（第2号）

【提案理由・主な内容】

今回の補正は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ7,615万2千円を追加し、補正後の総額を169億93万8千円とするもの。

企画財政部財政課は、今回の補正予算の財源調整のため55万8千円を計上。

住民福祉部住民環境課では、個人番号カード本体の更新時期が重なったことなどにより手続きの増加が見込まれることから、個人番号カード窓口業務等委託料として675万2千円を計上。

福祉課では、当初予算において定額減税補足給付金（不足額給付）の対象者を3,220人と見込んでいたが、令和6年分の収入に基づく確定申告等により所得額が確定し1,041人増えた見込みとなった。そのため、予算が不足したことにより、給付金、事務費等増額分を計上。

【主な質疑】

住民福祉部

質疑：LED関係の補助と聞いたが、これは温暖化対策などの観点からのものだと思うが流れを伺う。

答弁：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付が国からあった。その中の生活者支援枠でLEDの照明の補助をすることとした。まず、地球温暖化対策の効果が一定あること、2027年に蛍光灯の製造が廃止になることもあり、今回LEDの照明器具の購入補助事業に至った。

質疑：対象者を把握する精度を高めるっていう意味でも、やり方もいろいろ試行錯誤で考えていかないといけないのでないか。

答弁：数の方を注視しながら、税務課等とも協力をしながら数の把握に努めていきたい。

企画財政部では、特記すべき質疑はなかった。

慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決した。